

# フルカラー検査システム コニカ Konsensus II

昨年7月に発売したフルカラー検査システム コニカKonsensusB2は、誰にでも、簡単に、速くフルカラーのハードコピーが得られる検版システムとして、印刷物の納期短縮・複雑化が進行している印刷製版業界から高い評価を頂き、昭和63年度日本印刷学会技術賞を受賞しました。

このコニカKonsensusB2の色相を改善し、網点再現性を向上して、お客様の一層のご要望にお応えしたのが、フルカラー検査システム コニカKonsensusIIです。

明室操作できる密着方式の採用で網点再現性を大幅に向上したコニカKonsensusII装置と、新しい発色現像剤との組合せによる画期的なカラー発色技術で印刷インキの色相に近づけた、コニカKonsensus用カラーペーパーKP-110PIIを発売しました。

## ◆コニカKonsensusIIの特徴

### ①校正刷りに近似した網点再現

大点はもちろんのこと小点も忠実に再現するため、ハイライトの多い絵柄でも正確な検版ができます。

### ②プロセスインキに近い色相

国内の代表的なプロセスインキに色相が近いため、色の掛け合わせが正確に判断できます。

### ③ピンバーによる高精度な見当

現状作業で使用しているピンバーをそのまま使用してポジフィルムをセットできるため、高い見当精度が得られます。

### ④密着・ローラーがけの自動化による簡便操作

ポジフィルムの取換え以外は自動化されているため、誰にでも簡単に操作できます。

## ◆システム構成

	商 品 名
装 置	コニカKonsensusII
感 材	コニカKonsensus用カラーペーパー KP-110PII
	コニカKonsensus用発色現像スター GCDS-3
	コニカKonsensus用発色現像補充剤 GCDR-3
処理剤	コニカKonsensus用漂白定着剤 GBF-2
	コニカKonsensus用安定剤 GSTR-2

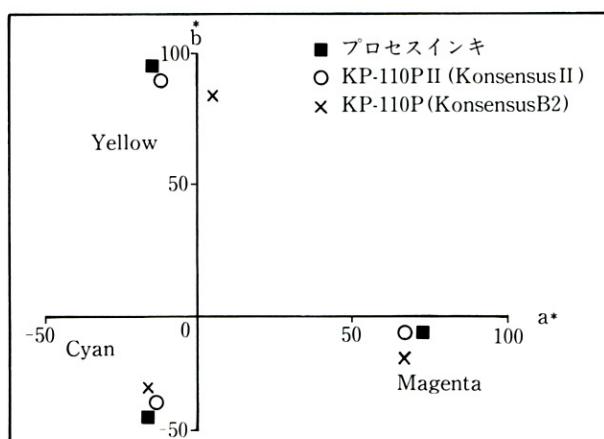


Fig.1 色再現性 ( $L^*a^*b^*$ 系)

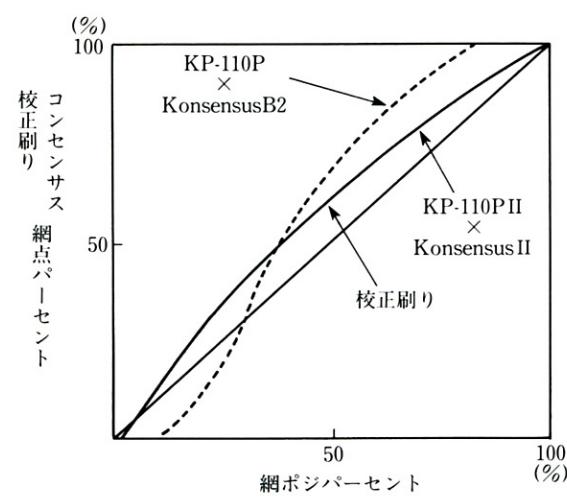


Fig.2 階調再現性

# トータル画像処理システム コニカ Performik

従来のレイアウトシステムには、汎用のミニコン等が使用され、かなり大がかりなものとなっていました。本来これらのコンピュータは、事務計算等を目的として設計されたものであり、情報量の多い画像の演算に必ずしも適したものではありませんでした。そこでコニカでは、製版作業に適したコンピュータシステムを新たに開発しました。

そのシステムの根幹をなすのが「マルチCPUシステム」と「共有ファイルシステム」という2つの基本設計の考え方です。

## ◆コニカPerformikの構成

- コニカPerformikは
- 32ビットマルチCPUシステムを搭載し、最大ディスク容量4.8ギガバイトを内蔵するステーションCP。
  - 台紙作成の割付けを行なうステーションLC。
  - 精度よい割付け、画像処理を行うステーションIM。
  - の三つのステーションから構成されています。

## ◆コニカPerformikの特徴

### ①6つの作業の同時進行

スキャナー入力・レイアウト・画像処理・画像処理演算・集版演算・スキャナ出力の各工程を、他の仕事の負荷に影響されることなく、同時併行処理できます。

### ②システムの拡張性

1台のステーションCPに6台のステーション(LC・IM)を接続できます。

### ③省スペース

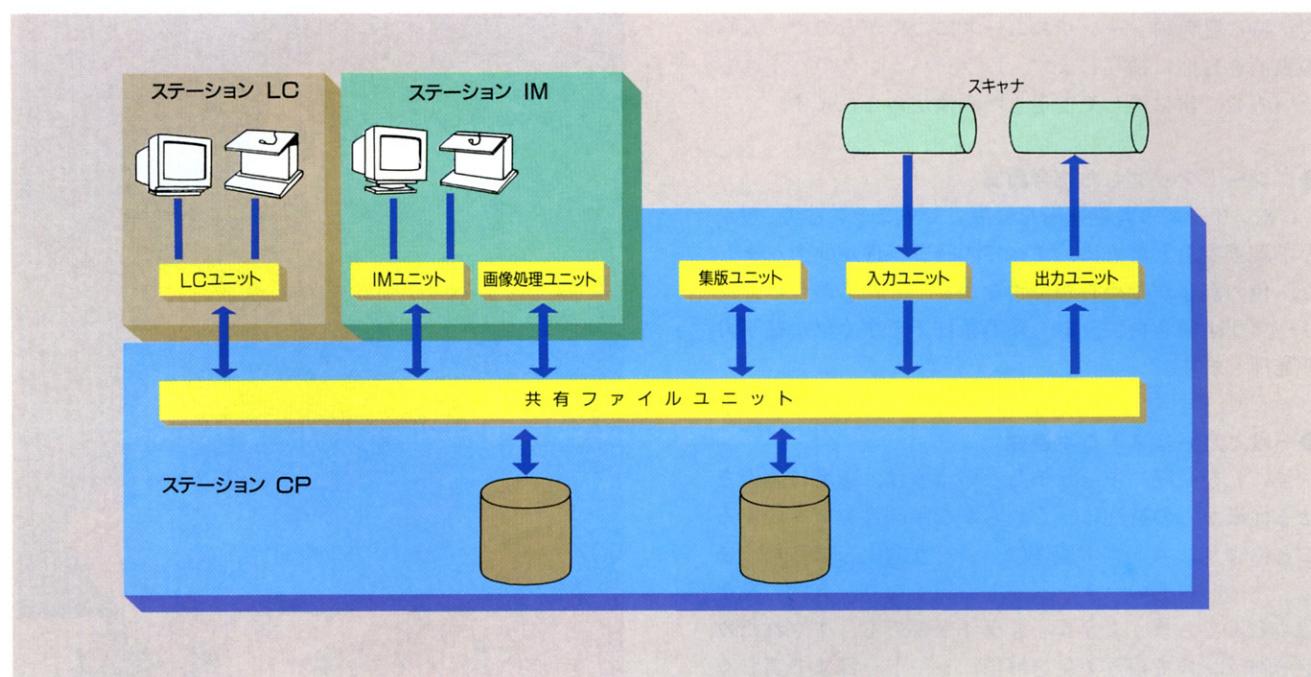
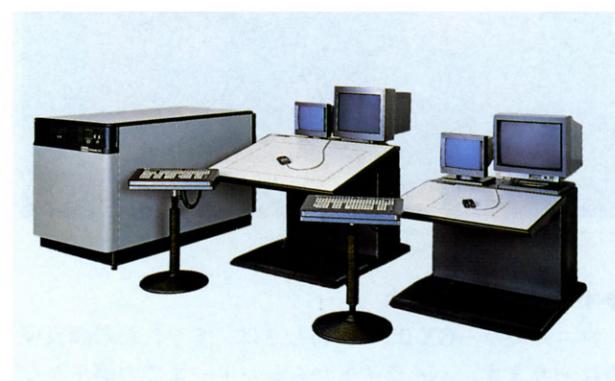
単位m<sup>2</sup>当たりの生産性が絶対条件である都市型印刷製版産業に適しています。

### ④操作は簡単

日本語メニューによる対話式で、だれでも簡単に操作が可能です。

### ⑤高品位のフィルム出力

高解像処理により、線画・マスクなどのザラツキがありません。



コニカPerformikのシステム構成

## 一段と美しく安定した画像が

この写真の内容についてはお問い合わせ下さい

### ◆安定画質に応えるタフネス設計

さまざまな条件下での耐性を高め、品質の劣化をより制御。常に良好な仕上がりが得られ、色画像保存性にもたいへんすぐれているので、いつまでも美しい画像が残せます。

この写真の内容についてはお問い合わせ下さい

### ◆すぐれた階調表現力

コニカカラーGX II 100の新しさは、すぐれた階調表現力にあります。ハイライトからシャドーまでの調子がなめらかにつながり、被写体の質感・立体感をみごとに再現。特に肌色のトーンがスムーズにつながるので、人物の表情を自然に描写します。カラーバランスのくずれもないで、常に美しく安定した画像が得られます。

### ◆グレードアップした総合画質

GXシリーズの乳剤技術を発展させることにより、豊かな階調表現力とともに、すべての画質特性が向上しました。色の調子がなめらかにつながり、しかも鮮やかでシャープな画像を再現。あらゆる条件下ですぐれた描写力を発揮します。

### ◆一段と良好なストロボ適性

強い光を過度にキャッチしないように、適度に感光させる従来からの特性に、なめらかな階調性をプラスすることにより、ストロボ適性はいっそう向上しました。また、オーバー側のラチチュードも広くなり、人物の顔が白くとんでもしまうようなハイライト部でも、すぐれたカラーバランスで描写不足を解消。シャドー部まで美しく再現します。

この写真の内容についてはお問い合わせ下さい

# 得られる コニカカラーGXII 100

この写真的内容についてはお問い合わせ下さい

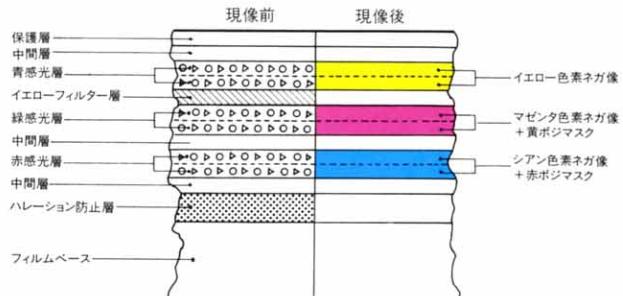


Fig.1 フィルムの層構成

## さらに発展した新乳剤技術

### ◆新規ハロゲン化銀結晶技術

コニカカラーGXシリーズで採用された多重構造結晶技術に加え、新規結晶成長技術を開発しました。潜像形成をムダなく行なう多層化された多重構造結晶内部に、ハロゲンイオンを局在。現像コントロール機能を持たせることにより、鮮鋭性、色再現性はもとより、コニカカラーGXII 100の持ち味である階調性も一段と向上させていきます。また、結晶間に働く凝集力を弱め、分散性を向上させるとともに、ハロゲン化銀粒子表面の構造を改良し、分光増感色素との親和力をよりアップ。感光効率が高まり、粒状性が向上すると同時に、ストロボ適性も非常に良くなっています。

### ◆新規シアンカプラー採用

現像初期から高濃度が得られ、より短時間で安定化するカプラーです。従来よりも少量で良好に発色するため、いっそうの薄膜化に成功しています。光の散乱がさらに低減され、鮮鋭性はよりアップ。タイミングプレカーサーの現像抑制効果も強化され、色再現性、粒状性も向上しています。また、現像処理工程での変動やトラブルに対しても濃度が安定するため、高い信頼性をも確保しています。

### ◆カプラー調整技術

高温・高湿の条件下で起こるブリードアウト現像を大幅に軽減する、カプラー調整技術を新たに開発。品質の劣化を防ぐとともに、さまざまな環境においての耐性を高め、より長期保存を可能にしています。

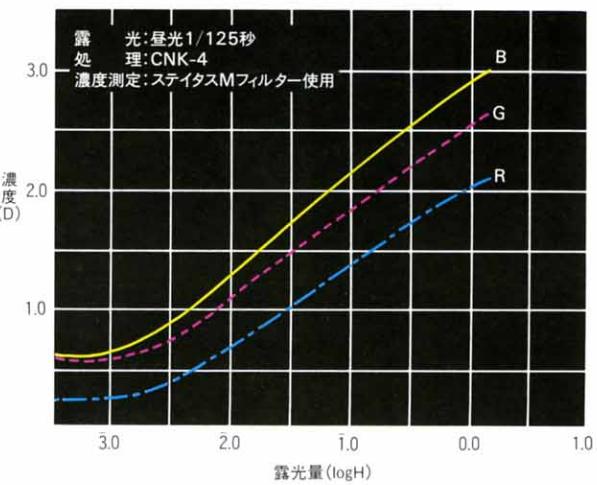


Fig.2 特性曲線

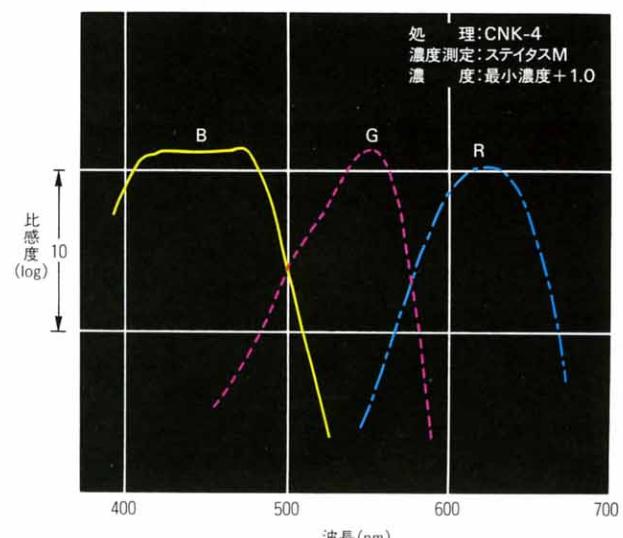


Fig.3 分光感度曲線

## 個性化時代にマッチする

触って楽しく、撮って楽しく、撮られて楽しい、人間共感を目的として開発されたカメラ、撮影者と被写体とのコミュニケーションを第一に開発されたカメラ、それがコニカのカメラです。

世界最少・最軽量、そしてフルフラットな形状は、カメラの存在感を感じさせない、フルオートAFカメラ“Big Mini”。リモコン機能搭載・多機能全自動ズームコンパクトカメラ“Z-UP80RC”。楽しさの瞬間を逃さない、オペレーションフリーパーティーカメラ“KANPAI”。これらを機種ごとに紹介致します。



コニカ Big Mini



### ◆コニカ Big Mini

世界最小・最軽量のコニカBig Miniは「European Compact Camera of the Year '89'90」を受賞しました。この賞は、1988年6月から1989年6月までの1年間にヨーロッパで発売されたコンパクトカメラの中から特に優れたコンパクトカメラ機種を選定するもので、ヨーロッパでは大変権威ある賞です。

選定審査団には、ヨーロッパの写真業界関連誌14誌が担当し、すぐれた機能と携帯性が、高く評価されました。

表彰式は、フランスのパリで開催のサロンデラフォト会場にて、1989年9月30日に行なわれました。コニカカメラのコンセプトが共感をもって受け入れられたのです。

### 特長

#### ●超小型・超軽量のボディー

177×63×36mm、195g。フルオートAFカメラでは世界最小・最軽量の大きさです。正面から見た大きさは文庫本の半分程度です。いつでもどこでも気軽に持ち運べます。

#### ●リトラクタブル式（沈胴式）のレンズ収納

未使用時には、レンズがボディーに収納されているのでじやまになりません。ポケットやハンドバックなどにす

っぽりと入り、携帯性が抜群です。撮影時には、メインスイッチを押すとレンズが繰出してレンズカバーが開きます。

#### ●35cmまでのクローズアップ機能

クローズアップボタンを押すことで、最短35cmまでの接写が可能です。

#### ●高精度23段階オートフォーカス機構

一般撮影で12段階、クローズアップ撮影で11段階の計23段階のオートフォーカス機構で、高精度のピントを保証します。

#### ●クイックチャージのオートフラッシュ

暗いところでの撮影では、自動的にフラッシュ撮影（フラッシュオートモード時）に切替ります。さらに、フラッシュON・OFFモードの選択により、日中シンクロ、ストローシャッターシンクロ、夕夜景のAE撮影も可能です。

#### ●幅広いシャッタースピード

シャッタースピードは、1/3秒から1/500秒までの広い範囲なので、夕景などの低輝度から真夏の晴天時などの高輝度まで、プログラムAEに連動していつでも適確なシャッタースピードで撮影します。

#### ●ファショナブルなデザイン

直線と曲面をマッチさせたおしゃれなデザインです。ハンドバックやブリーフケースに似合います。

ボディカラーもブラックとチタンカラーの2色を用意しました。

### ◆コニカ Z-up80RC

数々の消費者雑誌で抜群の評価を獲得し、英国の'89 Camera of the Yearを受賞したコニカZ-up80の持つ一眼レフ並みの機能、卓越した操作性・スペックをすべて継承しつつ、さらに、リモートコントロール撮影機能、簡単な多重露出撮影機能、無限遠ボタン等の機能を新たに搭載、誰でも簡単に思いのままの写真が撮れる、高性能ズームコンパクトカメラです。

### 特長

#### ●パワーズームレンズ

スナップ写真からポートレート写真まで使用頻度の高い高性能40~80mmパワーズームレンズを搭載しました。どの焦点距離でも切替操作なしで最短60cmまでの近接撮影が可能です。

#### ●リモートコントロール撮影

着脱式のリモコン送信機でカメラから離れて自由にシャッターが切れます。カメラ正面から5m以内、背面から

# コニカカメラ



コニカ Z-up80RC

0.7m以内、思いのままに撮影できます。

## ●イージーマルチ撮影機能

たった一度シャッターを切るだけで、連続6回の多重露出撮影を自動的に行う機能で、3ショット目にフラッシュが発光します。スポーツの分解写真、動きのあるシーンでアート感覚溢れる写真が楽しめます。

## ●無限遠ボタン

遠景写真を写す場合、ハイテク撮影スイッチを下方に押し込んだままシャッターを切るだけで、よりシャープなピントに撮ることができます。山岳写真、風景写真の撮影の最適な機能です。

## ●ティルトレバー

リモコン撮影やセルフタイマー撮影、特殊撮影で、カメラを台の上に置いて写したい時に、5°カメラを上向きにできます。

## ◆コニカ KANPAI

世界初のボイスレリーズ機構を搭載した、フルオートパーティーカメラです。

## 特長

### ●ボイスレリーズ機構

笑い声や歓声に反応して、シャッターを切るという、世界初のボイスレリーズ機構を搭載しています。

笑い声に反応をるので、楽しい瞬間を逃さずにキャッチ、自然な笑顔の写真が撮れます。パーティーなどでは、幹事さんはKANPAIにまかせて、パーティーをエンジョイして下さい。盛上った瞬間をKANPAIは記録します。

### ●自動首振り機構

ボイスレリーズで撮影時、フィルム巻上に連動してカメラが首を振って角度を変える、世界初自動首振り機構です。パーティー全体の雰囲気をまんべんなく撮影します。首振り動作を停止させることも簡単にできます。

### ●専用コンパクト三脚

KANPAIのボイスレリーズ機構を生かすべく、コンパクトで軽い愛嬌のある、専用三脚を標準装備しました。いつでもどこでもKANPAIと一緒に持ち歩けるようにケースにすっぽり入ります。

セルフタイマー使用時にも威力を發揮します。

### ●フレーミングモニター

三脚使用時にフレーミングを決めるのに、とっても便利な、フレーミングモニターが付いています。カメラの上からも撮影範囲が確認できます。ローランダル、ハイランダルも思いのまま、一味違った世界が見えてきます。

### ●3色5連LED表示

赤、黄、緑の3色のLED5個を装備。ボイスレリーズ使用時には、音の強さを示すレベルメーターに。セルフタイマー使用時には、最初の5秒間は光が流れ、残り5秒はLEDの点灯の数が減ってカウントダウン。

シャッターの切れる瞬間がよくわかります。



コニカ KANPAI

# 新製品紹介 A3原稿対応のコンパクトな複写機 コニカ U-BIX 1512

コニカU-BIX1512は同1012のシリーズ機として、いろいろな機能を付け加えた高性能普及機です。その特徴は一つにはお使い頂く方の使い勝手が徹底的に追求されていること、そしてもう一つはオフィススペースを有効に利用できることです。

## ①多彩なペーパーハンドリング

- フロントローディングカセット。(250枚収納)
- 50枚セットでできるマルチトレー。
- 手差し給紙。
- カセットモジュール(フロントローディング追加カセット・250枚収納・オプション)を加え、4ウェイ給紙。

## ②イージーメンテナンス

- 紙詰まりなどのトラブルも、クラムシェル構造(開閉式ボディ)の採用で、ペーパー通路全体を見ながら処理できます。
- めんどうな濃度調整は、EE機構が様々な原稿濃度に合わせて適正濃度を自動的に設定します。
- 回収トナーの廃棄は、トナーカートリッジと回収ボックスの一体化で、回収ボックス交換の手間を省きました。交換忘れの心配もありません。



コニカ U-BIX 1512(架台付)

## ③オフィススペースを無駄なく利用

- 原稿台固定方式で且つ排紙口を装置内部にレイアウトし、装置の出っ張りを少なくしました。前面からカセットを交換できるフロントローディング方式と合せ、オフィスの狭いコーナーにも設置できます。

## ④機能アップ

- コピーサイズはB4からハガキまで対応します。変倍機能(3段階固定変倍と65%~155%までのズーム変倍)により最大A3までの原稿をコピーできます。
- ドラムカートリッジの交換により、ブルー・レッド・グリーンのモノカラーコピーが簡単にとれます。
- 消音設計で静かなオフィス環境が保たれます。

## コニカ U-BIX 1512の主な仕様

形 式	卓上型
原 稿 台 方 式	固定式
感 光 体 種 類	OPC
複 写 原 稿	シート、ブック物
最大原稿サイズ	A3
複 写 サ イ ズ	B4、A4、B5、A5、B6、ハガキ 画像欠け幅(先端後端6mm以下、手前奥側3mm以下)
ウォームアップ・タイム	40秒以内(20°C)
ファースト・コピー・タイム	7.5秒(A4マニュアルコピー時)
連続複写速度	12枚/分(A4) 10枚/分(B4) 〔固定倍率〕1:1(±0.5%)、 1:1.220、1:0.820、1:0.710 〔ズーム〕65%~155%(1%単位)
複 写 倍 率	1段カセット(250枚)+マルチペーパートレイ(50枚)+手差しカセットモジュール(250枚) オプション
給 紙 方 式	1~99枚
電 源	AC100V、50/60Hz(非共通)
最大消費電力	1.3KW
大 き さ	幅697mm×奥行597mm×高さ330mm
重 量	約40kg
機 械 占 有 寸 法	幅1,054mm×奥行597mm

# オフィス文書のカラー化に プリンタインターフェース PI-8010

PI-8010はデジタルマルチカラー複写機Konica8010をパソコン用接続端子に接続し、3色のレーザープリンタとして活用するためのオプションです。多部数のカラーオフィス文書を、実用的な時間で、低コストで作成することができます。

## ◆PI-8010の機能

### ① 3色カラー印字

パソコン用接続端子(NECのPC-9801シリーズ)上で動作するワードプロセッサやCAD、表計算等のソフトウェアで作成された結果を、3色で印字することができます。解像度は8ドット/mm(約200dpi)と普通のワイヤドットプリンタの解像度160dpiより高いので、良好な印字を得ることができます。また赤黒青の単色を選ぶことも、2色を選ぶことも当然可能です。

### ②合成モード

PI-8010とKonica8010のシステムは、ただ単にレーザープリンタとして使用できるだけでなく、Konica8010の持っている3色カラースキャナ機能を利用して、原稿を読み取り、パソコン用接続端子側からの出力と合成して印字することができます。地図やイラスト等キーボードから入力すると時間がかかったり、フロッピーディスクの容量が不足しがちな原稿を、ワードプロセッサからの文字出力と合成して印字するのに適しています。またスキャナで読み取る場合は、Konica8010本来の解像度の16ドット/mm(約400dpi)となるので、高画質です。さらにKonica8010の特徴であるマーカ色変換も同時に使用可能なので活用範囲はさらに広がります。

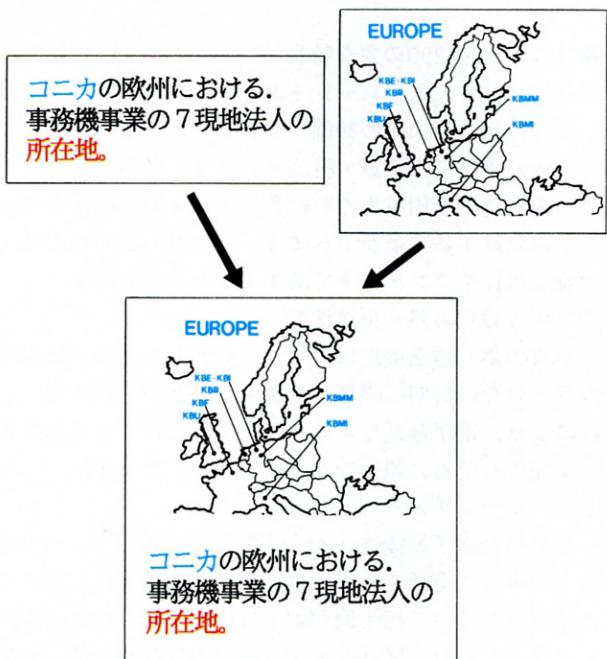
## ◆プリンタコピアとしての特長

PI-8010とKonica8010はただ単にプリンタとコピアの機能が1台でまかなえるというだけではありません。2種の機能が1台になっていることにより、従来は考えられなかった応用が可能です。例えば、アプリケーションソフトがカラー対応でない場合にも、一度白黒で印字して、マーカー色変換で強調するとか、パソコン用接続端子側では対応できない微妙な縦横比を調節するとか、様々な活用できます。

PI-8010はKonica8010と接続することにより、その特長をより一層発揮し、オフィス文書のカラー化を便利にし、オフィスの資料作成に不可欠な機器になると考えられます。

## 主な仕様

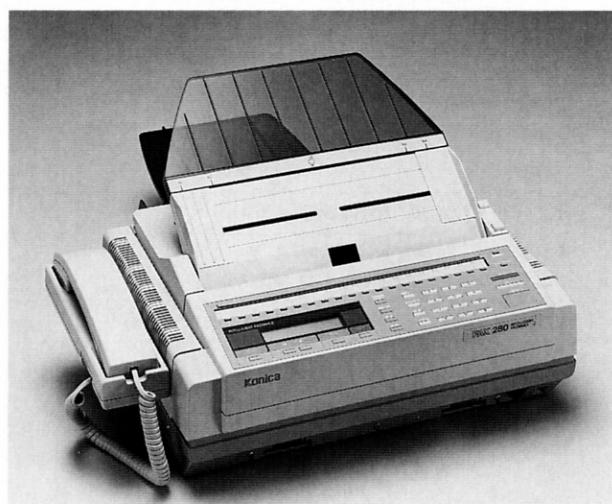
項目	仕様
仕向地	国内向けのみ 100V(50/60Hz)
対象とするパソコン	NEC PC-9801シリーズ
プリント機能	NEC PC-PR201エミュレーション
表現色	黒、赤、青の3色
色選択	スイッチにより、7色→3色(黒、赤、青)の対応が任意に設定可能
解像度	200dpi
文字フォント	新JIS第2水準 (明朝体 30×30dots 11.25point) 半角英数字(エリート/コンデンス)
印字方向	ポートレイト/ランドスケープ
最大プリントサイズ	略B4(257×364)
プリンタインターフェース	パラレルインターフェース (セントロニクス準拠)
特殊機能	スキャナーとの合成モード有り



# B4判送受信の普及型ファクシミリ コニカ FAX280

ビジネスパーソナルタイプの「コニカ FAX110」、ビジネス用多機能機の「コニカ FAX310」に引き続き、これらの普及タイプとして、「コニカ FAX120」と「コニカ FAX280」を発売しました。

「コニカ FAX280」は大手企業及び中小企業のセクションマシンとして適切で、送受信機能を強化したビジネス用多機能の普及機です。



コニカ FAX 280

## ◆コニカ FAX280の主な特長

### ①ワンタッチ・オペレーションキー

このクラス最大級の20個のワンタッチ・オペレーションキーの各々に、画質・濃淡・済スタンプのオンオフ・通信開始時刻や相手先の短縮番号等の全ての操作をプログラム登録することができます。そのため次回からは、煩雑な操作をワンタッチで済ますことが可能です。

### ②コニカ独自の誤り再送機能

独自の誤り再送機能により、コニカ FAX280/310間でエラーのない鮮明な画像を電送することができます。これにより、電送遅延やエコーノイズなどによって信号歪みが発生しても、誤りなく画像が再現できます。

### ③コールバックメッセージ付会話予約

通常の会話予約機能（送受信後、自動的にFAXの電話ベルが鳴って会話をしたいことを伝える機能）に加えて、会話要求を受けて相手側が電話に出ない場合にコールバックメッセージをプリントする機能が搭載されています。

### ④閉域通信

同一のパスワード（4桁の暗号番号）の設定されているコニカ FAXどうしの閉域通信が可能です。誤って違う相手に送信するのを防いだり、不要なダイレクトメールなどの受信を拒否することができます。

### ⑤その他

A4判原稿を12秒送信、B4判まで送受信、16階調の中間調、スーパーファイン送信、中継同報指示、親展送信、順次ポーリング、タイマー通信など、多くの機能を備えています。

## コニカ FAX 280の仕様

型 式	卓上型送受信兼用機
通 信 モ ー ド	CCITT 勘定G3, G2, NTTミニファクスモード
適 用 回 線	公衆加入電話回線網、 ファクシミリ通信網（第2種接続）
符 号 化 方 式	MH, MR, MMR, KMMR(コニカ独自方式)
読 取 走 査 方 式	CCDによる平面走査
原 稿 サ イ ズ	幅： 128mm～297mm 長さ： 73mm～420mm (A3判)
最 大 有 効 読 取 幅	256mm (B4時), 216mm (A4時)
自 動 給 紙 装 置	内蔵：最大30枚
中 間 調	16階調
記 録 方 式	感熱記録方式
記 録 紙 サ イ ズ	257mm(幅)×100m(長さ) ロール紙
有 効 記 録 幅	252mm (B4時), 212mm (A4時)
解 像 度	8pels/mm×3.85本/mm, 7.7本/mm, (主×副走査) 11.55本/mm
モ デ ム ・ ス ピ ー ド	9600/7200/4800/2400 BPS フォールバック機能付き
電 源	AC100V, 50/60Hz
消 費 電 力	待 機 時：約30W, 受 信 時：約150W 送 信 時：約100W コピ一時：約200W
外 形 尺 法	約412mm(幅)×約308mm(奥行き)× 約172mm(高さ)
重 量	本体部：約11.2kg (トレー部、電源コード、 突起部を除く)

# 高精細情報を自由に操る コニカレーザーイメージヤー Li-10

医用画像のハードコピー記録装置として、従来から使用されてきたCRTを用いたイメージングカメラに替わって、レーザーイメージヤーが注目されています。このイメージヤーはデジタルの医用画像情報(CT、MRI、DSAなど)をデジタルデータとしてメモリーし、このデジタル量に応じた微細なレーザー光の強度を変調しフィルム上に記録するものです。

## ◆主な機能と特長

### ①画像のストア機能・複製機能

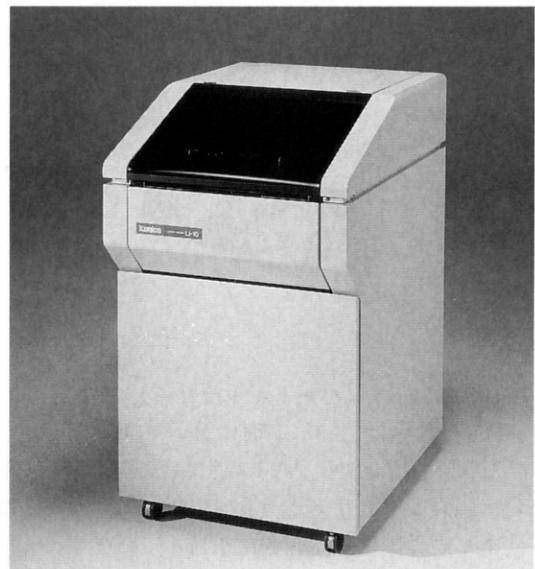
1枚のフィルムに撮影すべき画像全コマをデジタルデータとしてメモリーにストアし、D/A変換した後、1回の連続したレーザー走査で、フィルム上に記録します。従って、ストアを消去しない限り何枚でもオリジナルの写真が作成できます。大きな病院では写真を複数作成しますので、この機能は大変喜ばれます。

### ②マルチモダリティ対応(複数診断装置との接続)可能

従来からのCRTイメージングカメラでは、1台のカメラに1台の診断装置を接続しますが、レーザーイメージヤーでは各々の装置に合わせたインターフェースを増設しメモリーを拡張することで、複数の診断装置と接続できます。病院内のスペースセービングに役立ちます。

### Li-10の仕様

商品名	Li-10
レーザー光源	He-Ne(633nm)
使用フィルム	タイプ LP633
フィルムサイズ	11×14" 14×14" 14×17"
フォーマット	1,2,4,6,9,12,15 オプションでフリー
画素数(14×17)	4096×5120
画素サイズ	80μm
濃度分解能	12ビット(4096階調)
プリント時間	10秒
画像メモリー	標準8MB(32MBまで拡張可能)
画像モード	シャープ/スムーズ
ポーダー処理	クリア/ブラック
画像枠(トリム)	可能
ネガ/ポジ反転	可能
複写機能	99枚まで設定可能
ランダム撮影	可能
撮影条件設定	LUTで7種可能、デンシティ/コントラスト各15段
マルチモダリティ(別売)	最大4種可能、ハードディスクメモリー装備可能
マガジン	明室装填サプライ50枚、暗室装填サプライ100枚、レシーブ50枚
自動現像機直結	SRX501, KX500, KX400, KX300, KX250と可能またデーライトシステムとの接続可能
電源	AC100V, 5A
外形寸法	W700 D891 H1190
重量	約200kg



### ③ポーダー(コマ間及び外枠)の選択可能

従来からのCRTイメージングカメラのポーダーはクリアですが、レーザーイメージヤーでは、ブラックとクリアの選択が可能ですから、ブラックを選択することにより、診断時にシャーカステンから目に入る不必要的光をカットします。すなわち、診断しやすい写真を提供します。

### ④画像のスマージング機能

ストアした画像データに補間処理を施すことにより、ピクセルの輪郭をスマージングしますので、拡大画像の診断に際してピクセルを気にせずに見えます。

### ⑤豊かな階調性

画像データに応じてレーザー光をA.O.M(音響光学変調素子)で強度変調を行いますが、このA.O.Mのダイナミックレンジが広いため、内蔵するルックアップテーブルを用いて12ビットの階調で出力ができます。従って、入力した画像データをより忠実に再現します。

### ⑥高品位画像

レーザー光走査は80μのスポット径でフィルム上に記録しますので、高解像度画像を提供します。画像の拡大もレンズ系を用いた方法ではなく、80μのスポット径のままピクセル数の変化で行いますので、拡大により解像度の低下がない写真が得られます。

また、CRTイメージングカメラでは、CRTに蛍光体を使用していますから、モトルが粒状性に影響しますが、レーザーイメージヤーではレーザー光が直接フィルムに露光しますので、粒状性が向上しています。



## ◆H'ARTGALLERY（ハートギャラリー）とは

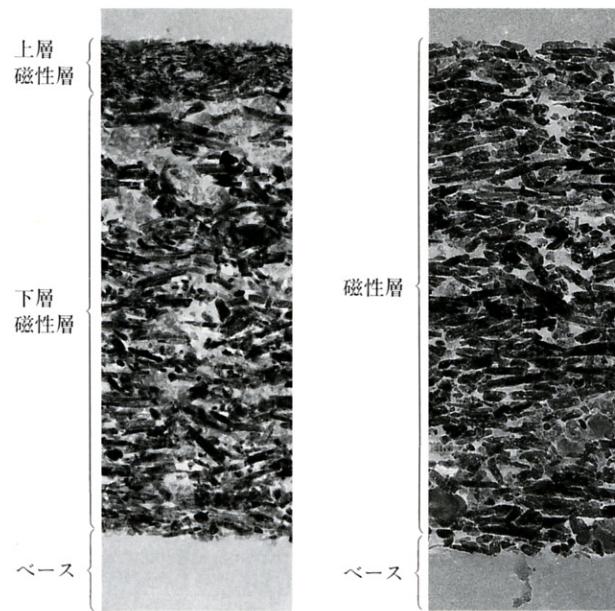
近年AVの世界は、ハード面において大画面テレビ・HiFi-VTRの急速な普及、ソース面においては衛星放送の本格化・EDTV（クリアビジョン）放送のスタート等により、より高画質化、高音質化が進んでいます。一方、ビデオテープについても、「こだわり」派のユーザーの方が増えています。例えば、感性にマッチしたデザインのビデオテープが欲しい、とか、「画質も音質もよいテープが欲しい、とかといった声です。このような声は生活空間にDC（デザイナーズキャラクター）にはじまり、TC（タレントキャラクター）を経て、AC（アーチストキャラクター）ブランドを取り入れるようとする動きとも一致しています。コニカビデオテープH'ARTGALLERY（ハートギャラリー）は、物にこだわるこれらユーザーの方々の意見にこたえるべく、人気アーチスト日比野克彦がパッケージをアートしました。パッケージのラップからスリーブケース、アpendシール、ハーフラベルに到るまですべて日比野アートです。日比野克彦は今までにない新しいタイプのアーチストとして、今、若い人達を中心絶大な支持を集めているアーチストです。この日比野アートにつつまれたH'ARTGALLERYは、もう一つ、高画質、高品質を達成するための革新的な技術が盛り込まれています。次にその技術を簡単に御紹介します。

## ◆新しい技術：重層磁気テープ

磁気テープの磁性層を2層構成にしようという考案は古くからありました。例えば1949年発行の米国特許2691072号には上層のHc、Brとも下層のHc、Brより大きくした磁気テープが提案されています。このような重層磁気テープについて、コニカでは早くから注目し、その一つが公開特許公報昭50-138036（昭和49年出願）として紹介されています。H'ARTGALLERYは、このような古くて新しい技術をコニカが長年、カラーフィルムで培った多層塗

布技術を用いて現代に甦えらせたものです。H'ARTGALLERYの断層写真でみると上層磁性層と下層磁性層とが実質的に混合していないのです。この混合層が存在しないということが重要で塗布技術及び層設計技術の優秀さを物語っています。そこからH'ARTGALLERYの優れた性能が引き出されているのです。

当社のダブルコーティング技術は、従来単層だった磁性層を画像のシャープネスを決めるY信号に適した上層と、色の鮮やかを左右するC信号に適した下層の2層構造とすることで、画期的な高画質を実現しております。



H'ARTGALLERY  
重層断層写真

従来のビデオテープの  
断層写真